

令和8年度 川崎市下水道事業会計予算

(総則)

第1条 令和8年度川崎市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 処 理 面 積	10,726 ヘクタール
(2) 処 理 水 量	197,837,400 m ³
(3) 水洗化助成戸数	17 戸
(4) 主要な建設改良事業	
下水幹枝線、ポンプ場及び水処理センター等整備事業	23,000,000 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入

第1款 下 水 道 事 業 収 益	45,935,040 千円
第1項 営 業 収 益	37,187,857 千円
第2項 営 業 外 収 益	8,747,173 千円
第3項 特 別 利 益	10 千円

支 出

第1款 下 水 道 事 業 費 用	44,237,995 千円
第1項 営 業 費 用	41,687,360 千円
第2項 営 業 外 費 用	2,520,635 千円
第3項 特 別 損 失	10,000 千円
第4項 予 備 費	20,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 18,890,130 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,518,711 千円並びに過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 17,371,419 千円で補填するものとする。）。

収 入

第1款	下水道事業資本的収入	42,186,295 千円
第1項	企 業 債	33,659,000 千円
第2項	一 般 会 計 出 資 金	135,309 千円
第3項	国 庫 補 助 金	5,000,000 千円
第4項	負 担 金	6,000 千円
第5項	水洗便所等貸付事業収入	30 千円
第6項	基 金 繰 入 金	3,346,870 千円
第7項	固 定 資 産 売 却 代 金	39,066 千円
第8項	投 資 収 入	10 千円
第9項	そ の 他 資 本 的 支 収 入	10 千円

支 出

第1款	下水道事業資本的支出	61,076,425 千円
第1項	建 設 改 良 費	23,000,000 千円
第2項	企 業 債 償 還 金	33,131,452 千円
第3項	水洗便所等貸付事業費	30 千円
第4項	投 資	4,427,537 千円
第5項	そ の 他 資 本 的 支 出	507,406 千円
第6項	予 備 費	10,000 千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
令和8年度 土地借上料	令和8年度から 令和12年度まで	40,990 千円
令和8年度 下水道管渠維持管理業務関連経費	令 和 9 年 度	864,297 千円
令和8年度 下水道施設等維持管理業務 関連経費	令 和 9 年 度	435,078 千円
令和8年度 私道共同排水設備修繕工事助成金	令 和 9 年 度	6,000 千円
令和8年度 排水樋管観測データ情報提供業務	令 和 9 年 度	1,923 千円
令和8年度 受託事業関連経費	令 和 9 年 度	1,914,383 千円
令和8年度 情報化関連経費	令 和 9 年 度	17,865 千円
令和8年度 公共下水道建設事業費	令和8年度から 令和16年度まで	45,336,032 千円
令和8年度 財務会計システム関連経費	令 和 9 年 度	167,613 千円
令和8年度 「水洗便所改造等資金融資あっせん」 に伴う金融機関に対する損失補償	令和8年度から 債務消滅時まで	538 千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
1 公共下水道整備事業	千円 16,535,000	政府資金、銀行その他から普通貸借又は証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)による。起債の時期は当該年度とする。ただし、事業進捗又は財政その他の都合により、全部又は一部を翌年度へ繰越して起債することができる。	年6.0%以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の年度における利率とする。	借入れの日から40 か年以内(据置期間を含む。)に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。
2 借換債	12,424,000	銀行その他から普通貸借又は証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)による。起債の時期は当該年度とする。	同 上	借入れの日から25 か年以内(据置期間を含む。)に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。
3 資本費平準化債	4,700,000	同 上	同 上	借入れの日から20 か年以内(据置期間を含む。)に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、22,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職 員 給 与 費

4,640,005千円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業助成及び雨水処理費等に充当するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、13,084,947千円である。

令和 8 年 2 月 1 2 日提出

川崎市長 福 田 紀 彦